

第三期「北の大地☆子ども未来づくり北海道計画」の 策定に当たって

北海道の将来を担う子どもたちが、本道の広い大地と豊かな自然の中で、のびのびと心豊かに成長することは、私たち道民すべての願いです。

道では、平成16年10月に「北海道子どもの未来づくりのための少子化対策推進条例」を全国に先駆けて制定するとともに、平成17年度から平成26年度までの10年間にわたり、その具体化に向けた実施計画を策定し、全庁を挙げて少子化対策に取り組んできました。

しかしながら、本道の合計特殊出生率は、平成17年の1.15から平成25年には1.28と改善されてきたものの、依然として全国平均の1.43を下回り、全国で3番目に低い水準で推移するなど、少子化の進行に歯止めがかかっていない状況にあり、これには、未婚化や晩婚化、核家族化などが進んでいること、さらには仕事と家庭を両立できる環境の整備が遅れていることなど、様々な要因や背景があるものと考えています。

また、全国的にも少子化の流れは改善されていないことを踏まえ、国においても、少子化の危機を突破するための新たな対策や、人口減少の克服と地方創生を実現するための長期ビジョンなどが打ち出されています。

こうしたことから、この度、平成27年度から5年間を計画期間とする第三期計画を策定し、豊かな自然環境など、北海道の特性を十分に活かし、結婚、妊娠・出産、子育てなどのライフ・ステージに応じた総合的な少子化対策に取り組むことといたしました。未婚化・晩婚化への対応や子育て支援の充実などに努め、結婚や出産を望むすべての人々の希望がかなえられ、子どもたちが安全で安心な環境のもと、健やかに成長できる地域社会の実現を目指してまいりますので、道民の皆さまの一層のご支援とご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

終わりに、計画の策定に当たり、貴重なご意見、ご提言をいただきました「北海道子どもの未来づくり審議会」の委員の皆様をはじめ、道民の皆様に深く感謝申し上げます。

平成27年3月

北海道知事 高橋 はるみ

目 次

第1 計画の基本事項

- 1 計画策定の趣旨 1
- 2 計画の位置づけ 1
- 3 計画の期間 2

第2 本道の少子化などの現状

- 1 少子化の状況 3
- 2 少子化の要因 4
- 3 地域における子育て支援体制 7
- 4 ひとり親家庭の状況 7
- 5 社会的養護の状況 9
- 6 意識とニーズ 9
- 7 道内市町村の状況 13

第3 「第二期計画」の取組と評価

- 1 取組全体の評価 15
- 2 基本的施策の取組状況及び評価 16

第4 計画のめざす姿

- 1 計画のめざす姿 42
- 2 目標等の設定 42

第5 計画の内容

- 1 計画の内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 46
 - ・「結婚のステージ」・・・・・・・・・・・・・・・・ 46
 - ・「妊娠・出産のステージ」・・・・・・・・・・・・ 48
 - ・「子育てのステージ」・・・・・・・・・・・・・・ 51
 - ・「子育て・自立のステージ」・・・・・・・・・・・・ 65
 - ・「地域の環境づくり」・・・・・・・・・・・・・・ 71
- 2 重点施策目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 75

第6 計画の推進

- 1 計画の推進体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 80
- 2 計画の点検評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 81

第7 別表

- 教育・保育の「量の見込み」及び「確保方策」等区域（市町村）別一覧
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 82

第8 資料

- 1 合計特殊出生率の高い道内市町村の要因分析・・・・・・・・ 121
- 2 用語の解説・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 141
- 3 各種統計データ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 156
- 4 北海道子どもの未来づくりのための少子化対策推進条例・・ 161